

CERJET® (セルジェット) スプレーノズル

7JJXP シリーズ 金属製一流体ノズル

=7JJXP-series Nozzle=

取扱説明書

株式会社いけうち

目次

はじめに	P. 1
安全にご使用いただくために	P. 1
1. 注意事項	P. 2
2. スプレーノズルの構成	P. 3
3. 分解手順	P. 4
4. 組付手順	P. 4
5. 保守と点検	P. 5
6. 故障・異常の原因と対策	P. 5
7. 廃棄について	P. 5

はじめに

このたびは、“霧のいけうち®”のCERJET®（セルジェット）スプレーノズルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、CERJET®（セルジェット）スプレーノズルの基本的な取扱い方や保守及び注意事項などについて解説したものです。

なお、品質、性能の向上など、より良い製品をご提供するために製品と本書の内容が一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

また、お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しい操作でスプレーノズルの性能を十分に発揮させてください。

誤った取扱いが原因で起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。十分な理解のもと、スプレーノズルの使用をお願いします。



取付け時には手袋等の保護具を着用してください。

注意

ネジ部や角部で怪我をする可能性があります。



取付けは確実に行ってください。

注意

ネジの締め忘れや、カプラの取付けが不完全な場合、使用中に外れ、重大な事故につながる可能性があります。



メンテナンスを行うときはスプレーノズルの温度に注意してください。

注意

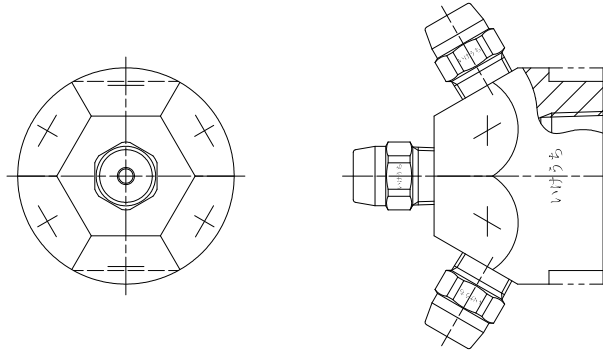
高温の場合、やけどをする可能性があります。

1. 注意事項

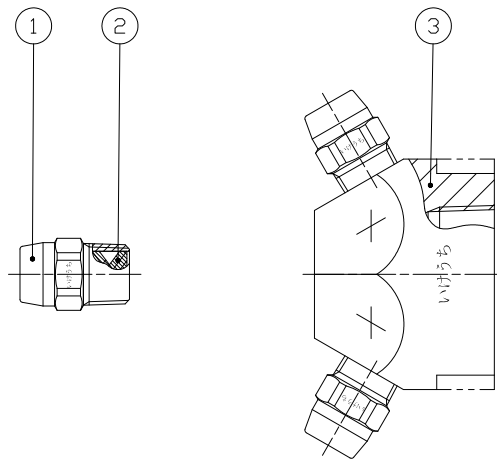
- (1) スプレーノズルを使用しないときは、必ず装置から取り外して保管してください。
- (2) スプレーノズルは金属製ですので、高温下での長時間にわたる噴霧停止は避けてください。
- (3) スプレーノズルの取付けは無理な力を掛けないようにしてください。
- (4) スプレーノズルは、重量の重いものがあります。取り付ける際には、十分に安全を確保して取り付けるようにしてください。
- (5) ネジ部や角部は、鋭利になっていることがあります。手袋等の保護具を着用し、十分に注意をして取り扱ってください。
- (6) 当ノズルの運転は、規定圧力内で行ってください。
規定圧力条件が無い場合は、当社発行の性能線図内にて使用してください。
- (7) ノズルには、傷を付けないようにしてください。ノズル本体を交換するとき、又は分解点検をするときには、スパナ、ミーリングバイス（万力）を使用してください。
- (8) 配管系統について
 - ・ 配管、バルブについてはオリフィスにならないような大きさのものを使用してください。
 - ・ 配管はステンレス製のなるべく新しいものを使用してください。
 - ・ 古い配管や、中にゴミや錆がある場合は目詰まりの原因となります。また、錆等の発生している配管の使用は絶対に避けてください。
 - ・ 新しい配管といえども、組付け時に内部にシールテープ等が入っている場合があります。スプレーノズル組付け前には十分フラッシングを行い、内部をきれいにしてから使用してください。
 - ・ 正しい圧力が供給されているかどうか確認のため、スプレーノズルの手前に圧力計を取り付けてください。また、万一のためバルブを取り付けることをおすすめいたします。
 - ・ ノズルの目詰まりが発生した場合、ノズル性能に異常を来します。
ストレーナー等を用いて異物がノズルに詰まらないように注意してください。
- (9) 出荷時には、スパナ等の工具を使用して締め付けていますが、スプレーノズルに加熱、冷却が繰り返される場合には、熱による膨張収縮によりネジが緩むことがあります。加熱、冷却が繰り返される場合には、定期的にノズル本体とヘッダーの組付けは緩みがないか、点検を実施してください。ただし、ネジ部等は焼付のおそれがありますので、ネジの着脱等は十分に注意してください。
また、ネジ部にはシール剤、又はシールテープを使用してください。

2. スプレーノズルの構成

(1) 組付図



(2) 部品名と材質



No.	部品名	材質	備考
1	ノズル本体	S303	消耗品
2	ワーラー	S303	消耗品
3	ヘッダー	S303	

註) (1) 消耗品について

実際の耐用年数は使用状況により異なります。ノズル本体、部品等の腐食、孔食等が起こり、スプレーノズルの性能に著しい変化が見られる場合は交換してください。

(2) 形番により形状及び材質が、本図及び上表と異なる場合があります。

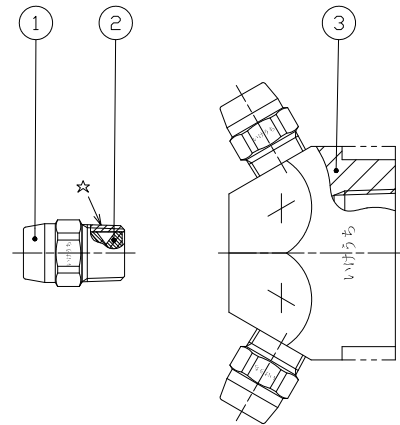
(3) 弊社では「ステンレス鋼」を「S」と略記しています。

【例】 S 303→ステンレス鋼 303

3. 分解手順（前頁の部品番号参照）

ノズルの温度が十分下がってから
ヘッダー③をミーリングバイスに固定し、
ノズル①②をスパナで取り外す。

使用工具：ミーリングバイス
スパナ



註) 使用環境によっては、ノズルは高温になっている場合があります。
分解はノズルが十分に冷めてから行うようにし、やけどに注意してください。

4. 組付手順

組付手順は、3. 分解手順の逆から実施してください。
ノズル本体締め付け時には、手締めした後2～3回転の増し締めをして下さい。
(推奨締め付けトルクは表1参照)

表1. 推奨締め付けトルク

ネジサイズ	推奨締め付けトルク (N・m)
1/8	8
1/4	15
3/8	20
1/2	40
3/4	60

註 (1) オリフィス部、内部にゴミ、異物が付着している場合は、ハケ等を利用し
取り除いてください。
(2) ネジ部 (☆印部) には、シーラ剤、又はシールテープを使用してください。

5. 保守と点検

メンテナンス基準

区 分	項 目	内 容
日常点検	・圧力計、流量計の指示目盛りのチェック	・噴霧した状態で液圧力及び流量の目盛りが、セット値と同じであることを確認する。
定期点検	・ストレーナー、フィルターの目詰まり ・ノズル部の外観	・定期的に分解掃除する。 ・腐食や噴口にゴミ付着ないことを確認。

点検の間隔についてはご使用状況により異なりますので、貴社にて設定の程お願いします。

6. 故障・異常の原因と対策

現象	原 因	対 策	備考	
噴霧しない	制御関係	・制御器のスイッチの入れ忘れ。 ・バルブの開け忘れ。	・制御スイッチを入れる。 ・バルブを開く。	
	配管, ノズル部	・ノズル、又は配管中の目詰まり。	・目詰まり部の点検と清掃。	
液漏れの発生	配管部	・接続部の締め忘れ、もしくは接続部のゆるみ。	・接続部の締め直し。	
	ノズル部	・ノズル, アダプター、又はパイプ等の亀裂もしくは、腐食。	・亀裂/腐食した部品の交換。	注意事項の項目を守るようにしてください。
異常噴霧	配管, ノズル部	・ノズル、又は配管中の目詰まり。 ・ノズル部の腐食。	・目詰まり部の点検と清掃。 ・亀裂/腐食した部品の交換。	

7. 廃棄について

各地方自治体や社内の処分方法に基づいて処分するか、専門業者へ依頼ください。